



は
な
か
、
は
ま
か
、
ひ
だ
か
。

CHECK!
新ひだか観光協会HP



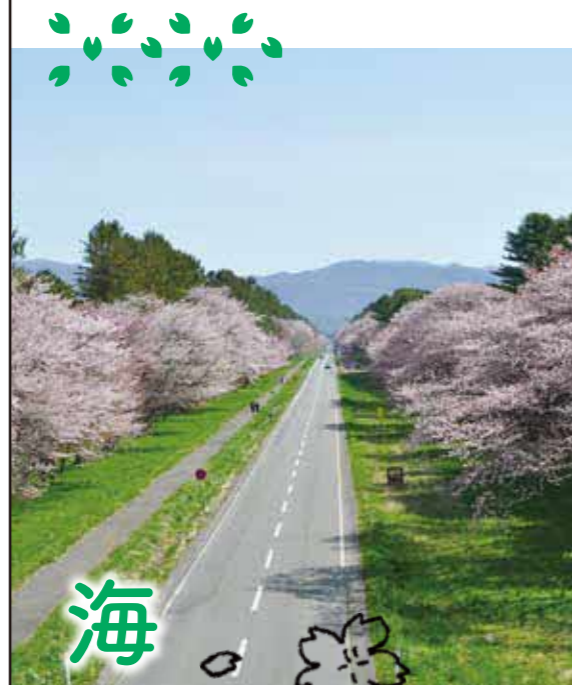
新ひだか町 / 桜

花咲き誇り、



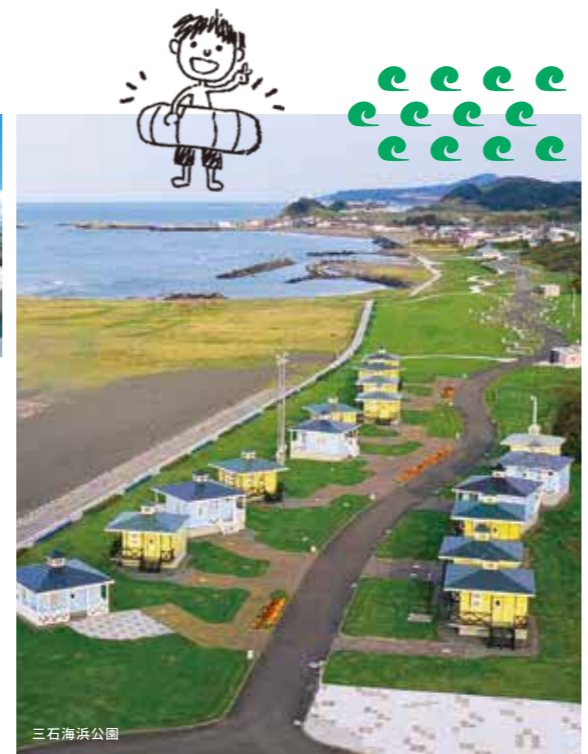
デルフィニウム

北海道で桜の名所として真っ先に挙げられるのが「二十間道路桜並木」。約7kmに渡って2000本を超える桜が植えられ、春には道の両側が桜色に染まって息を呑む美しさです。桜だけではなく、青く美しいデルフィニウムの産地としても有名。涼しく雪の少ない新ひだかでは美しい花が育まれています。



二十間道路桜並木

海と遊ぶ新ひだか。



三石海浜公園



みついし昆布温泉 蔵三

家族連れに人気なのが「三石海浜公園」。夏はふれあいビーチでのデイキャンプが可能で、バーベキューや磯遊びが楽しめます。また目の前に海が広がるオートキャンプ場は星の観察にうってつけのスポットです。近くには「みついし昆布温泉 蔵三」があり、太平洋を望む船型の露天風呂が遊んだ体を癒してくれます。



04
GUIDE MAP
新ひだか町

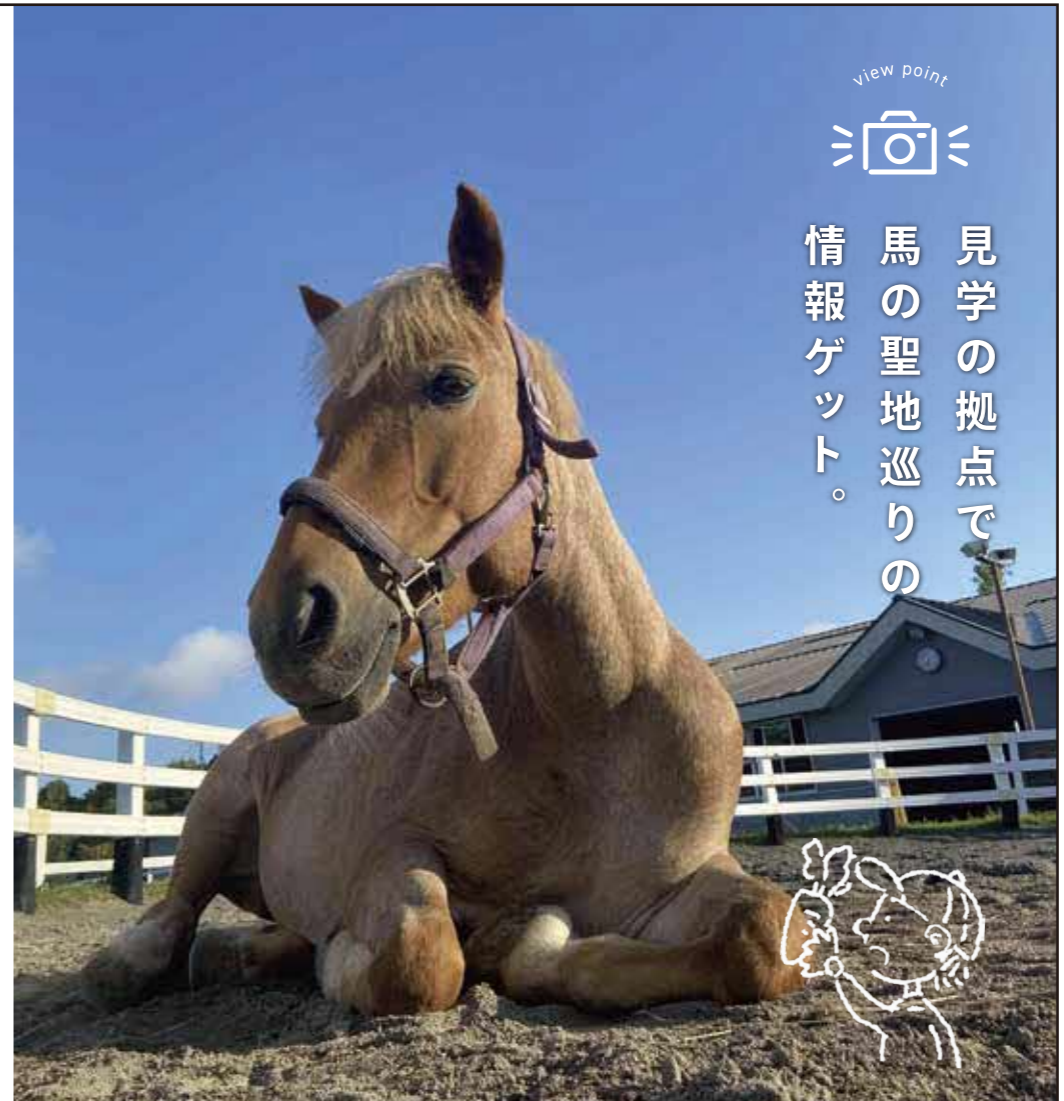
Access 新ひだか町
 札幌から日高自動車道経由
 約2時間
 新千歳空港から日高自動車道経由
 約1時間30分



三石川のハクチョウ

新ひだかに流れる、
ふたつの川を訪れる、
季節を告げるお客様。

新ひだか町の三石川や静内川は、毎年冬になると多くのハクチョウが渡来するスポットとして知られています。川面をすいすいと優雅に泳ぐ、冬の北海道らしい景色をぜひ写真に収めてみてはいかがでしょうか？



ライディングヒルズ静内



ライディングヒルズ静内

たくさんの方の施設がある日高地方ですが、そんな馬産地を訪れる方の拠点にぴったりなのが「競走馬のふるさと案内所」です。各牧場の見学情報や牧場マナー、乗馬のできる観光牧場などを教えてもらえます。馬たちを守るためにもまずは案内所でしっかりと情報をチェックしましょう。

新ひだかの乗馬施設といえば、「ライディングヒルズ静内」。初心者向けのコース、海を眺めるトレッキングコースなど経験に合わせたコースが設定されています。





みるか、
のるか、
ひだか。

CHECK!
浦河観光協会HP



浦河町/JRA日高育成牧場

見て乗って、

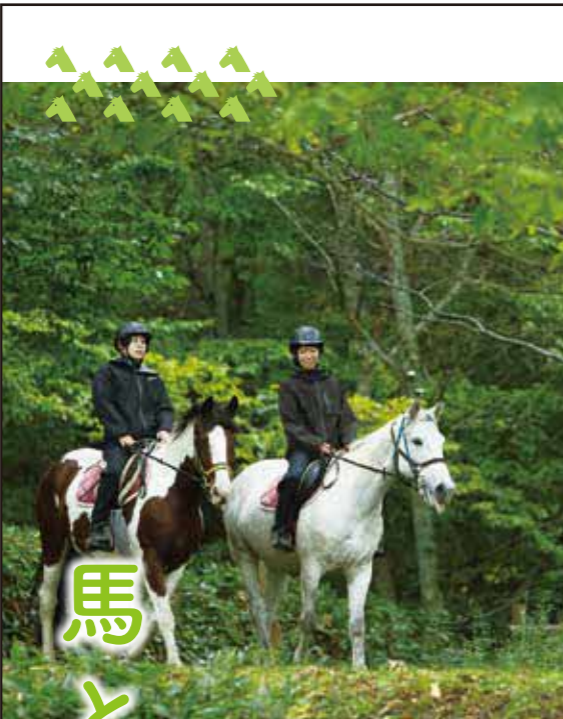


うらかわ優駿ビレッジAERU

日高全体が馬産地として有名ですが、なかでも浦河町は馬関連施設が多い町として知られています。「うらかわ優駿ビレッジAERU」ではかつての競走馬を見学できたり、乗馬を体験したりできます。また宿泊施設も併設されており、馬と過ごす優雅な1日を味わえます。



JRA日高育成牧場



乗馬体験



展望台からの眺め

「JRA日高育成牧場」では、未来の名馬になるべく多くのサラブレッドたちが育成されています。東京ドーム320個以上の広大な敷地内に、全長1kmもの屋内直線馬場や屋内トラックなど様々な施設があり、世界で勝てる馬の育成に励んでいます。展望台からは育成牧場を駆ける馬たちを眺めることができます。

馬とふれあう浦河。



浦河町立郷土博物館 優駿の門

約100年もの名馬生産の歴史を持つ町だけあって、その歴史を伝える施設も点在しています。日本競馬史上初の五冠馬の「シンザン馬像」や、種馬改良の歴史資料を展示した「JRAメモリアルホール」などは聖地巡りにぴったり。「浦河町立郷土博物館」の「優駿の門」をはじめ馬のモチーフもあちこちにあるので探してみてもいい？

町の歴史は名馬の歴史。



view point



牧歌的な景色はドライブにうってつけ。



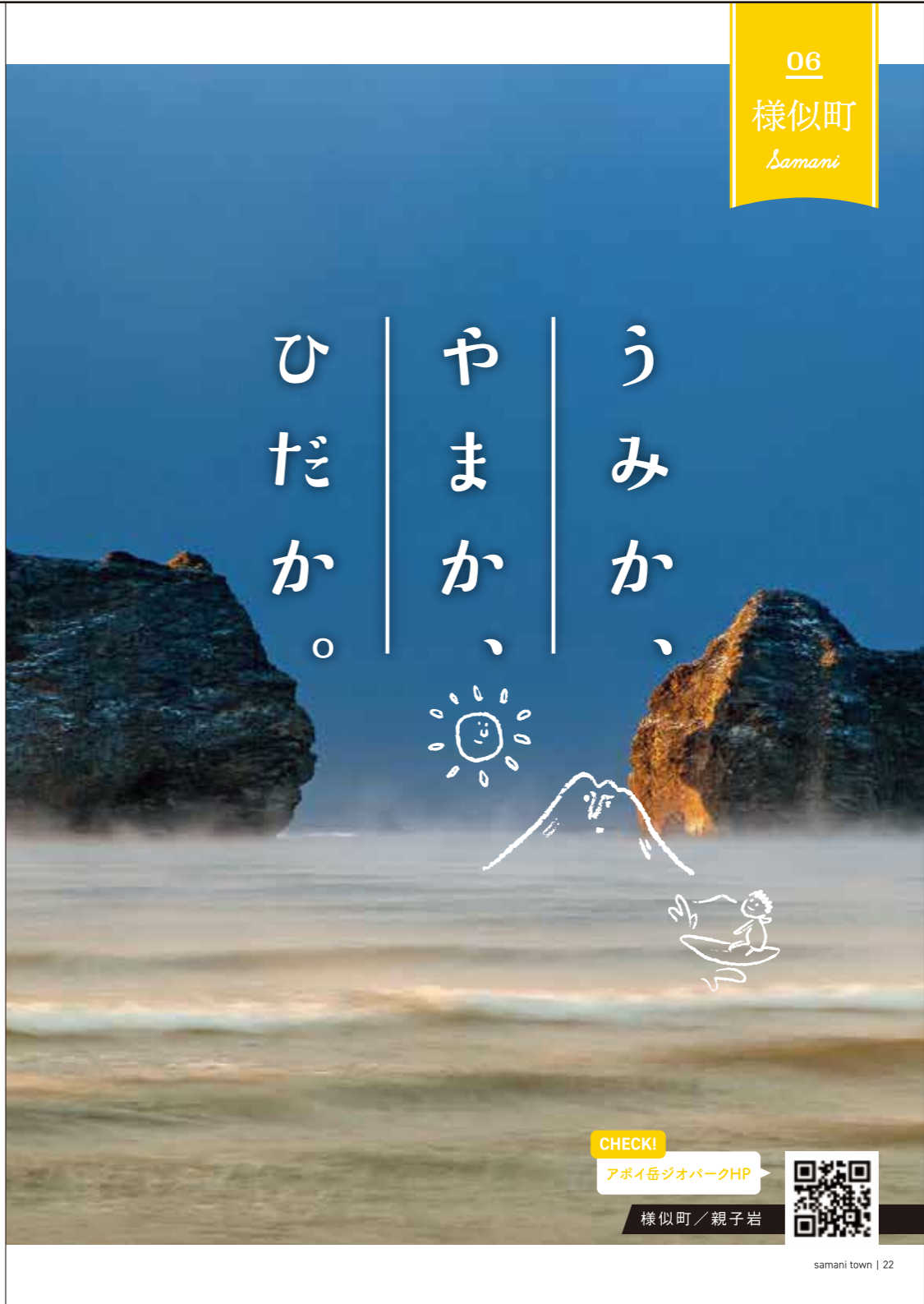
優駿さくらロード



ルピナスの丘



名馬の産地だけあっていたるところに牧場風景が広がっています。特に「浦河サラブレッドロード」はその大牧場地帯を眺めながらドライブが楽しめます。また「優駿さくらロード」は、その名のとおり桜の木が約1000本植えられ、ライトアップも幻想的です。浦河には花の名所がもう一箇所あります。四季折々の花が咲く「ルピナスの丘」です。花の向こうには港が一望でき、夏は一番の見頃です。



うみか、
 やまか、
 ひだか。

CHECK!
 アボイ岳ジオパークHP



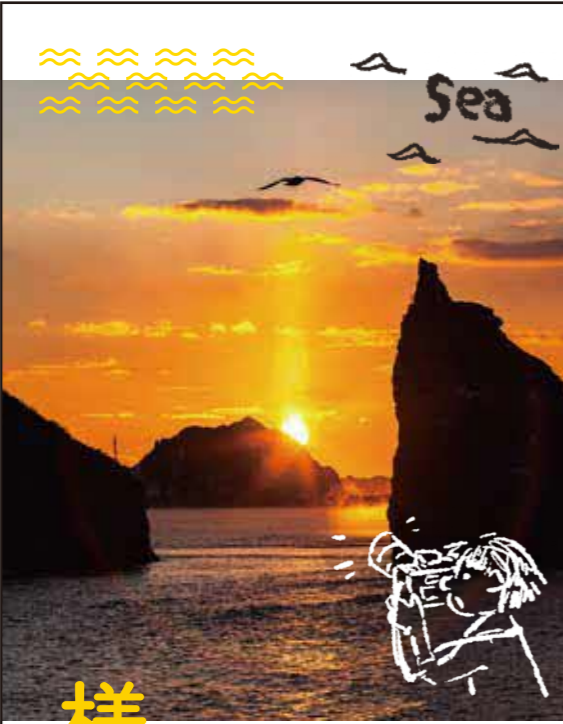
様似町／親子岩

海あり山あり、



親子岩

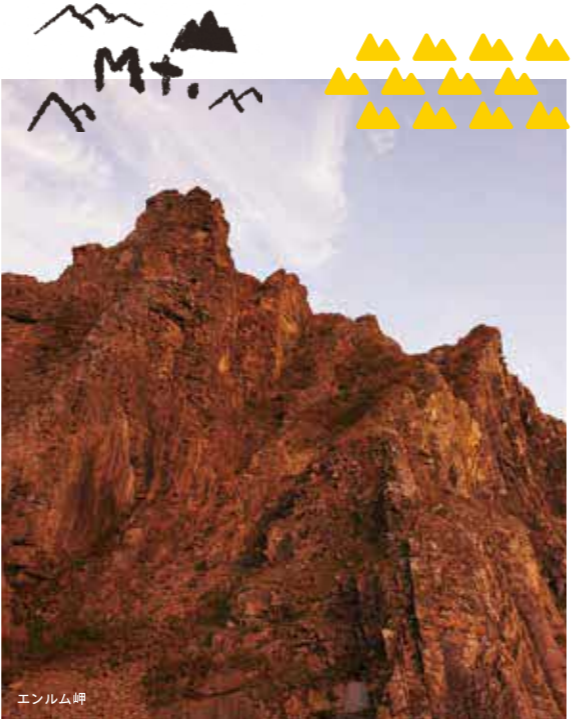
町全体がユネスコ世界ジオパークに認定されている様似町の海には、まるで親子が寄り添うように見える親子岩が迎えてくれます。その親子岩が見守るようにあるのが「親子岩ふれ愛ビーチ」。7月上旬から8月下旬まで楽しめるので多くの家族連れで賑わい、海水浴はもちろんキャンプや釣りも人気のスポットです。



ローソク岩



上空からのエンルム岬

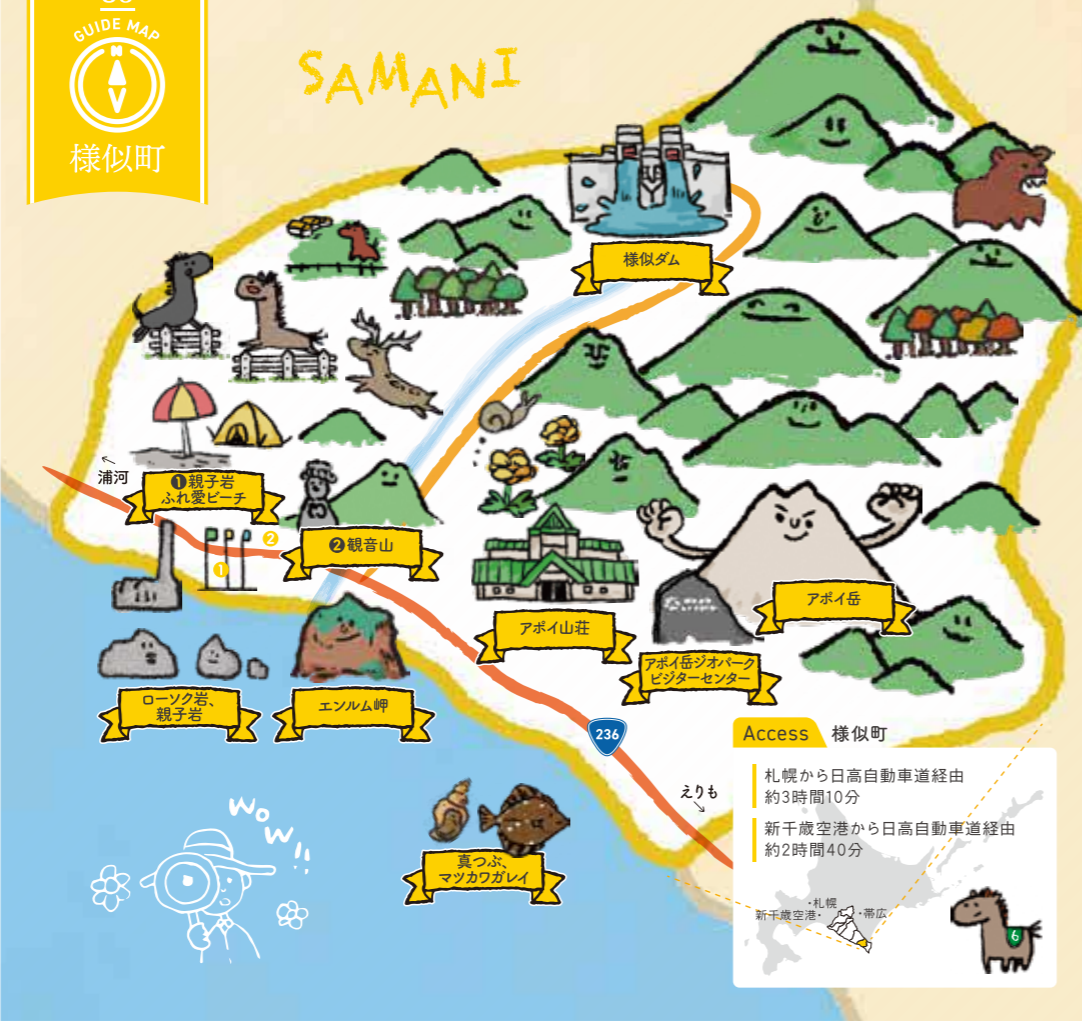


エンルム岬

幌満川を削ってきたかんらん岩の溪谷や、かつては島だったのが波に運ばれた砂などによって陸地とつながってできたエンルム岬など、自然が作るアートのような景色に目を奪われます。様似町の自然や歴史・文化について詳しく知りたい方は「アボイ岳ジオパークビジターセンター」がおすすです。

様似の自然体感。

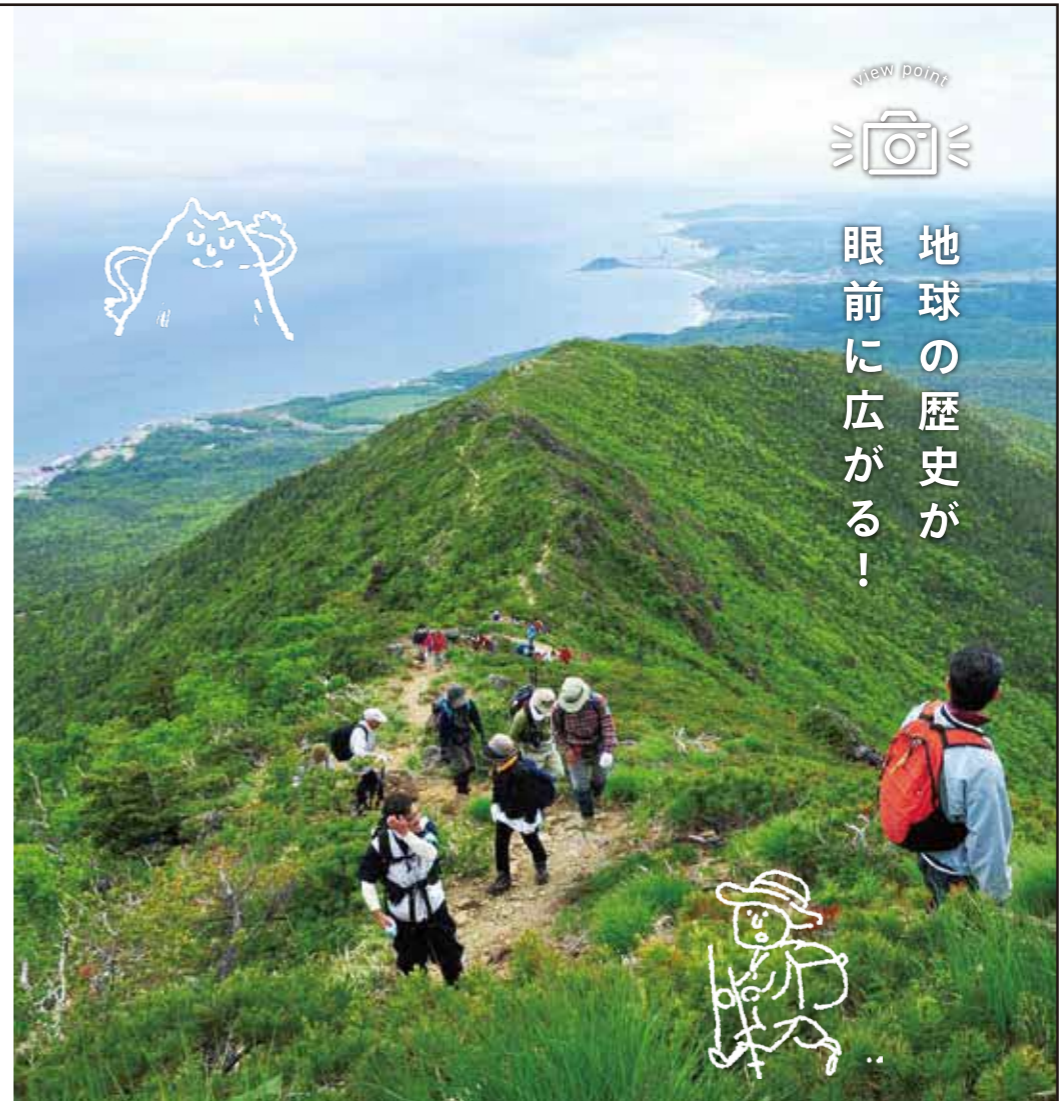
SAMANI



**山の恵みが
海の恵みを
作り出す。**

山や海の自然を満喫したら、お腹も満たしたところ。様似町は、山の清流と太平洋、そして親潮と黒潮が混ざり合う漁場で、旨味をたっぷりと蓄えた魚介類が豊富です。

町内の食堂では、全国的にも有名な真つぶのほか、マツカワガレイやサケなど、新鮮な海の幸を贅沢に使った食事をお腹いっぱい堪能できます。

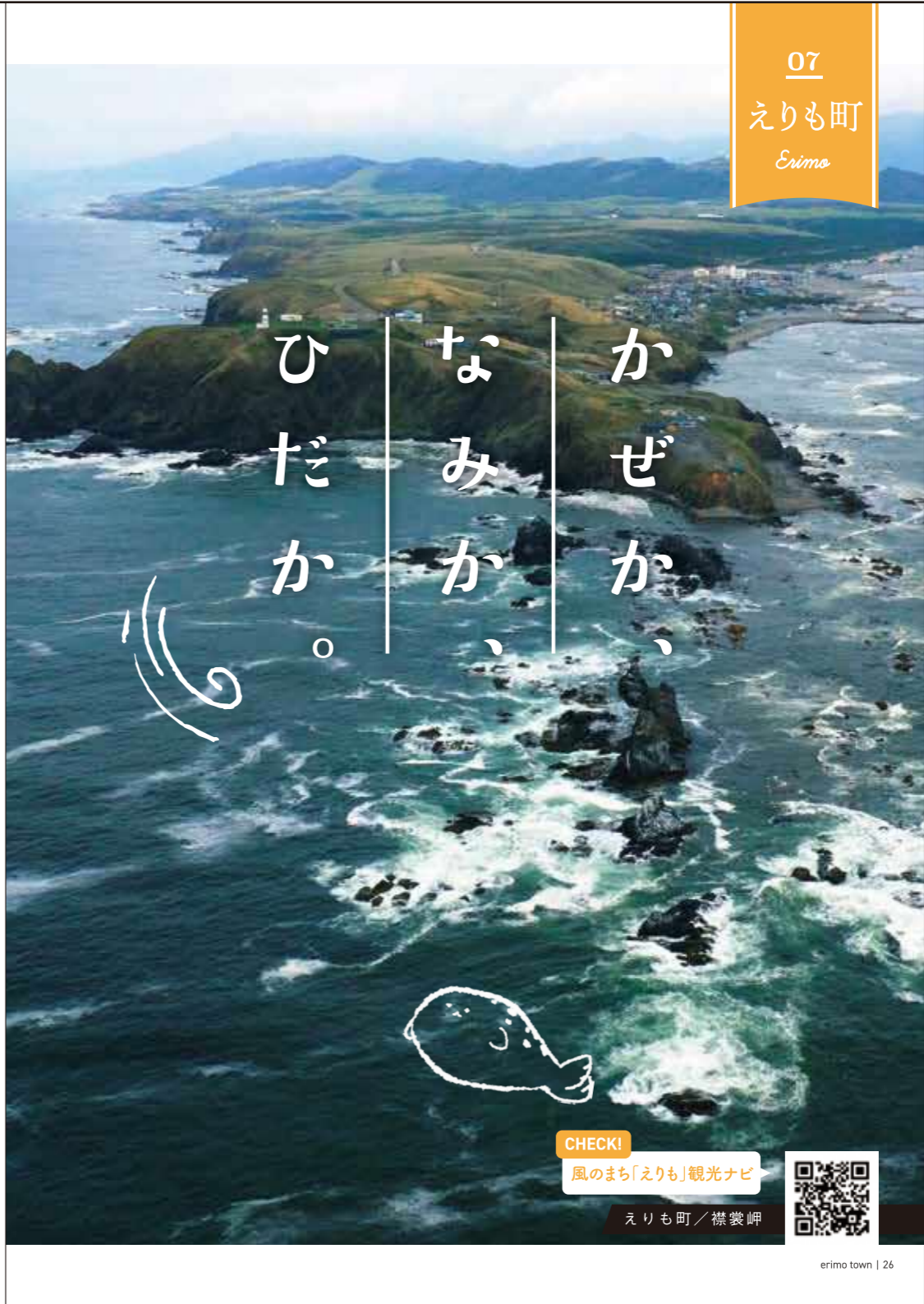


地球の歴史が
眼前に広がる！

アポイ岳登山



日高山脈の南端にあるアポイ岳はかんらん岩という珍しい岩石でできており、標高は810mと高くはないのですが、ヒダカソウやエゾコウゾリなどの固有植物を含む、たくさん的高山植物が生育しています。この特殊な環境で知られるアポイ岳は、国の特別天然記念物や花の百名山にも選ばれています。



かぜか、
なみか、
ひだか。



CHECK!
風のまち「えりも」観光ナビ



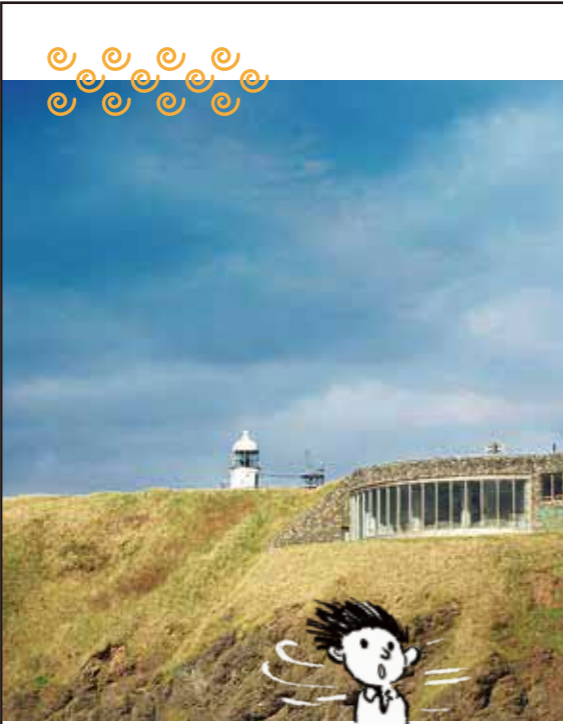
えりも町／襟裳岬

波風立っても

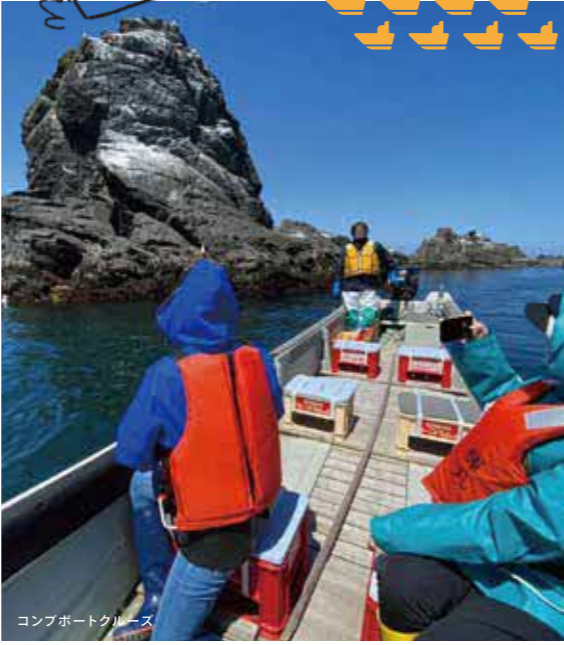


襟裳岬 風の館

えりも町といえば日高山脈の最南端にある襟裳岬。約2kmも岩礁が続く圧倒される景色です。風速10mの強風が吹く日が一年に260日以上あるという日本有数の強風エリア。「襟裳岬 風の館」では展望台から絶景を眺められるだけでなく、風速25mのえりも風を体感できるコーナーが人気です。



襟裳公園線



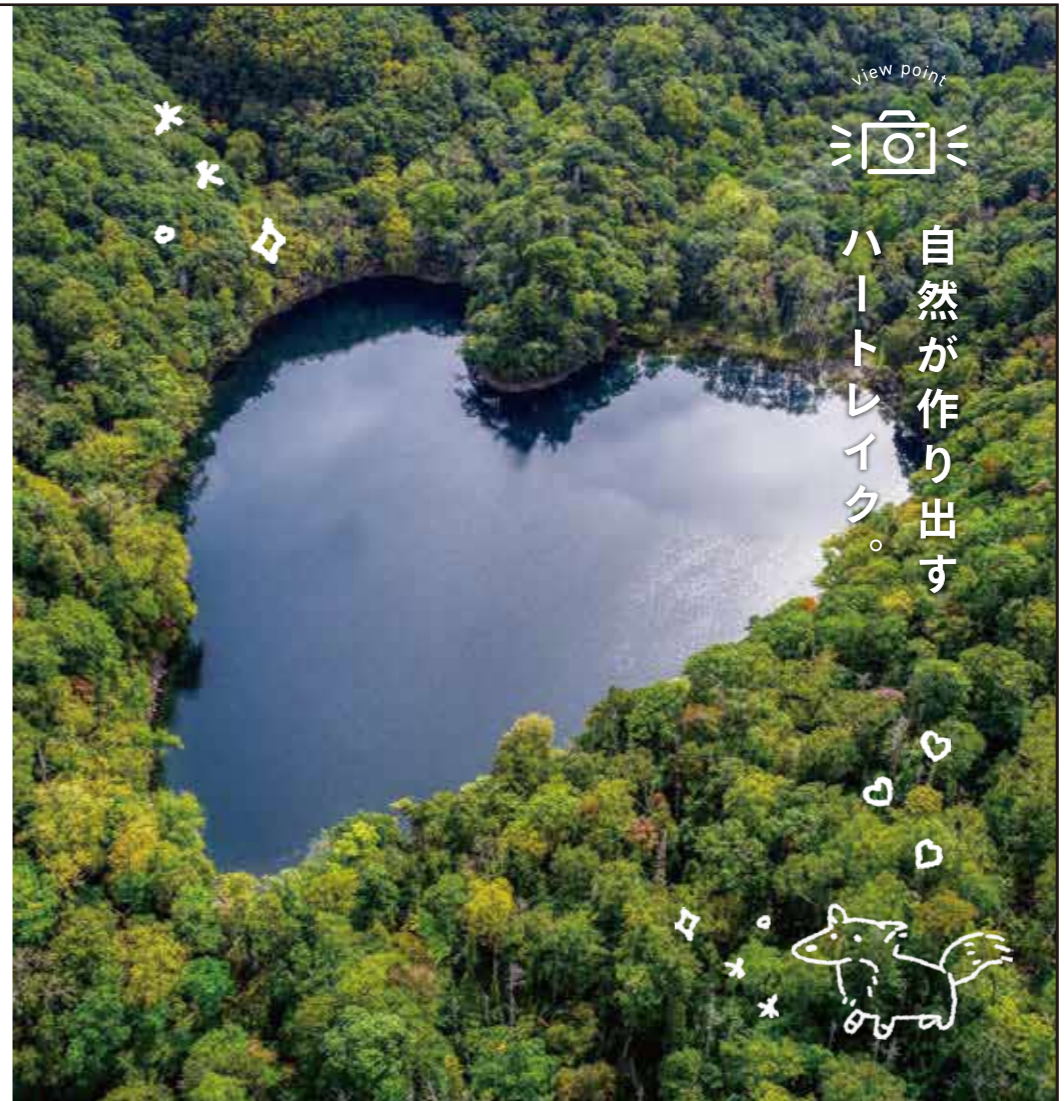
コンポートクルーズ



ゼニガタアザラシ

陸から襟裳岬を楽しんだら、次は海から。実は襟裳岬から見える岩礁には野生のゼニガタアザラシが生息しています。運が良ければ陸からも見つけられますが、より近くで見たい方は昆布漁船で岬を周遊するコンポートクルーズやシーカヤックでのツアーがオススメです。岩礁の上で日向ぼっこするアザラシと遭遇できるかも。

えりもの魅力。



百人浜



雄大な自然の中で、
自然と遊ぶ。

南北約10km、最大幅約200mの広大な砂浜に、えりもの強風による大きな波が打ち寄せる景勝地「百人浜」。付近には自然に囲まれたオートキャンプ場やパークゴルフ場があり、都会の喧騒から離れた自然遊びを満喫できます。



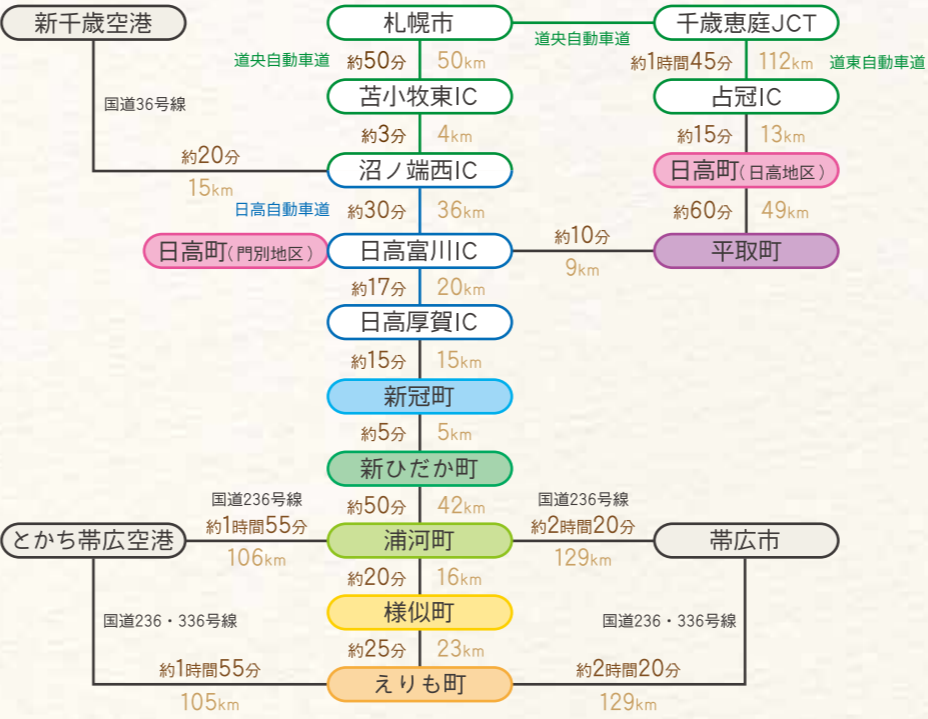
エゾナキウサギ



シマエナガ

日高管内唯一の自然湖である豊似湖は、とってもロマンチック。なぜなら上空から見るとハートの形を描いているから！山に囲まれているので湖畔をハイキング気分で散策できます。またこの周辺は希少なエゾナキウサギの生息地。とても小さくすばしっこいので、もし見ることができたらラッキー。冬にはシマエナガも見られるかも？





観光情報は



北海道ひだか観光ナビ

ドライブのお供には



ひだかドライブマップ

ひだかの最新情報は日高振興局公式SNSで



Twitter



Instagram



Facebook

発行：北海道日高振興局